

Rhythm

—リズム—



R6 年度 第 1 学年 No.7

野々市市立布水中学校

令和 6 年 7 月 5 日 (金)

～1学期期末テストを終えて～

中間テストと比較して、自分自身の取組がどう変化したか、また、期末テストを終えてさらなる課題を発見できた人も多かったようですね。自分に置き換えて、下の振り返りを読んでみましょう。



- ・ 中間テスト計画の反省を活かして、ワークを提出前に急いでやるのではなく、もっと前からワークを終わらせて、自学で何回もワークの問題をすることができた。次のテストの時は、学習時間をのばし、もっと勉強できるようにがんばりたい。
- ・ あと4時間で40時間だったから、もうちょっと自学を頑張ろうと思いました。ワークをもう少しはやく終われたらいいなと思いました。勉強の仕方をもっと工夫したいと思います。テストは、結構うまくいったのでよかったです。
- ・ ワークの計画は中間の時よりうまく立てられたが、合計の学習時間は中間より少なかった。また、8教科になり、教科ごとの学習をまんべんなくすることができなかった。他にも、ワークをテスト期間に入る前にあまり進められていなかったことで、ワークに追われて、テスト勉強をあまりすることができなかった。2学期の定期テストから気を付けたい。
- ・ 目標の40時間以上までいけたけど、最後の方に技術・家庭・保体をためすぎて、あまり勉強する時間がなくなってしまったので、次のテストでは、バランスよくしっかりと勉強をしていきたいと思いました。
- ・ 計画での反省は勉強をやらなかった日が5日もあったことです。最低でも70分以上できるようにしたいです。良かったところは、ワークをすぐに終わらせて、復習をいっぱいできたところです。2学期の中間テストでは、勉強をいっぱいしていい点数がとれるようにしたいです。
- ・ 部活で疲れていたときや時間がなかったときなど、計画を遅らせてしまうことがありました。今回は提出日までに提出できてよかったけど、今後もっと提出物が増えるかもしれないので、計画通り進められるようにしたいです。良かった点は、中間テストの時よりも勉強時間が多かったことで、中間テストで改善したかった点が改善できていたので、この点は続けていきたいです。
- ・ 前回の中間テストの反省を活かして、取り組む時間や内容を前よりもより納得できるような形にできたのでよかったです。それに、前よりも間違えた問題を何度も解き直したり、苦手なところを繰り返し練習したりと、自分に合った勉強になったと思います。次のテストでは、今回の計画の良い点、悪い点を活かして、頑張りたいです。
- ・ 提出物も、立てた計画も、全て終わることができたので成功したと思いました。前回の反省も活かして、今回は応用問題にも取り組むことができました。これからの難しくなるテストでも、しっかりと勉強に取り組みたいです。
- ・ 計画通りに進まず、最後のほうが大変でした。次からは少しずつワークを進めておいて、テスト計画を立て、変更なしでテスト勉強をします。「勉強時間を意識する」という前回の反省点は改善できました。
- ・ 前回よりは時間も計ったので、具体的に学習ができたと思う。もう少しワークを早く終わらせたいので、日ごろからワークをこまめにやっておくと良い。計画を立てるときに、もう少し正確に予定を立てて、決めたい。

日々の授業の受け方、家庭学習 70 分以上、学習した日にその範囲のワークに取り組むなど、丁寧に学習をしましょう。各教科、中間テストと期末テストの解き直しをして、自分のつまづきを確認し、強化していきましょう。

異学年交流

3年生の先輩たちが1年生に向けて、修学旅行の発表をしてくれました。先輩たちは、どのように発表したら聞き手に伝わりやすくなるかについての発表スキルをクロスの授業で学びました。どの先輩たちも発表の工夫が見られ、とてもわかりやすいものとなっていました。また、1年生からの質問タイムも設けられ、積極的に質問する姿が見られました。今回学んだことを活かして、今後の授業でも発表スキルを磨き上げていきたいですね。そして、2年後に後輩たちへ発表できるようにこれから2年間クロスの授業を通して、多くのスキルを習得していきたいですね。

～1年生の感想より～

原稿を持っている人が少なく、目が合う人が多いと感じました。前を向いて話している姿を見て、声が聞こえやすいと思いました。これから発表するときは、原稿を見ずに話したいと思いました。言葉が詰まって、忘れたときは周りの人とサポートし合っていてすごいと思いました。(1組)

指をさして発表したり、場の雰囲気をもくしたり、クイズを作って発表したり、また目線を配りながら大きな声で発表をしていました。感じたことは、自分も楽しみながら伝えると、みんなが楽しくなると思いました。紙を見ずに発表していてすごいと思いました。2年後の姿をイメージすることができました。(2組)

発表するときは、クイズをするなどおもしろく話を聞いてもらえる工夫や、石川県と比べることで、よりわかりやすくなることがわかりました。また、大きな声でゆっくり、はっきりと話してくれていたのが、聞き取りやすかったです。発表するときは、相手のことを考えて工夫をしたいと思いました。また、聞き手もとても重要なので、反応することもとても大切だなと思いました。修学旅行が楽しみになりました。(3組)

クイズを取り入れて、興味をひきながら話題提供、絵や写真を取り入れる。石川と京都を比べる。聞き手を巻き込む、そしてあきさせないということを学んだ。このことを発表で生かしたいと思った。クイズを取り入れて発表しているのが興味をひいたので、今後の発表にも取り入れてみたいと思った。(4組)

どの班もクイズを出したり、質問をして聞き手を楽しませたりしていて、明るくなっていました。他にも、大きな声で、また絵や図、写真などを指さして発表しているところもあって、とてもわかりやすかったです。今回のことを生かして発表していけたらいいなと思いました。(5組)

ユーモアのあるとても面白い先輩方ばかりだったので、発表を聞いてとても楽しかったです。説明やクイズ、キャラクターや再現などで自分の知らない京都の魅力もたくさん知ることができました。発表の工夫を生かして自分たちも2年後、発表や修学旅行を楽しみたいです。(6組)

クイズを出して聞き手に楽しんでもらったり、興味を持ってもらったりすることや、重要なことは声を張ることがすごくよかったので、まねしようと思った。また、京都に行ったことがないので、京都の寺について知ることができた。身近なところから良い京都が受け継がれている工夫を知れてよかった。(7組)

3年生の発表を聞いて、石川と京都の違いがわかりました。発表スキルでは、最初に問いかけを入れたり、質問を入れたり、クイズにしたりすることで、興味を持って聞けるなと思いました。絵を使うことで、伝えたいことがわかりやすかったです。(8組)

堂々と発表する先輩たちの姿、かっこよかったですね。

